

「楽しいことがいっぱい为学校」づくり～人権について考えよう～



◆活動内容◆「一人一人が大切にされること」「大事な言葉」「想像力」をキーワードに。

①「WellBeing すごろく」(縦割り班)みんなで読みながらすめた。遊びを通して、内容について考えるだけでなく、友達との聴き合いや譲り合いができることをねらいとした。各教室でもゆっくりと遊ぶことができるようにした。

②「人権について考える作文」(3～6年)みんなで気持ちよく過ごすことを考え、自分の生活を振り返ったことを表現することで、新たな行動を起こそうという気持ちになることをねらいとした。

③「標語」(全)標語を作ることで、友達となかよく過ごすことを考えるきっかけとした。一人1作品を多くの人の目に触れる階段下に掲示した。

④「かわり方や正直さについて考える授業」(全)発達段階に応じた内容と方法で保護者とも一緒に考えることができた。扱った価値は【低学年】公平な態度【中学年】正直な心【高学年】いじめをたち切る正義。

◆児童の感想◆

・「すごろく」がおもしろかった。特に『となりの人のお手伝い』『イライラしたときどうしてる?』『なんでなん!』と思ったことは?』のマスがおもしろかった。みんなのいろいろな話が聞けて楽しかった。

・「すごろく」の、立ち止まるマスのジャンケンが、いろいろな人とできて楽しかった。『今の気分を色で表そう』を試してみたい。歌を歌うのは恥ずかしかったけどみんなが歌ってくれた。

・人権作文を書いて、いろいろ考えられた。楽しく書けた。・自分事として考えられた。・自分も気を付けないといけないと思った。

◆保護者の授業参観の感想◆

・これから大人数になった時、いろんな人と出会っても授業で習った事を思い出して欲しいなと思いました。

・いじめに気づいた時に大人にも頼るとか、子供たちの色々な考えを聞くことが出来て、私も勉強になりました。しっかり考えているんだなあと思いました

・実際に天使と悪魔に分かれて行く授業が楽しみながらできていた。まだまだ表現が難しいのか、心が綺麗なのか、悪魔に苦戦していて、面白かった。